

2025年11月14日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI 実績値の公表について

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）  
が、共同で事業運営しております。

水戸農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客様への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1~5本文および(注)】

- ◎お客様に提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ◎お客様の長期・積立・分散投資の多様なニーズにお応えできるような商品のラインナップの充実を図っております。
- ◎税制優遇制度（NISA制度、iDeCo）を活用した資産運用等についてもご案内しております。
- ◎なお、お客様の最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型		7 (前年度末：7)

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞



2022年4月1日

◎コア・サテライト戦略について  
保有する資産をマザーファンド（中核）と  
サテライト（派生）に分けて運用する方法

＜イメージ図＞

コア  
・定期的保有を前提とする  
・バランスファンド  
・安定的なリターンなし

サテライト  
・株式  
・REIT

＜複数ニーズに応える单一資産ファンドなど＞

◎JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、  
国内外約6,000本の中から、  
JAバンクが独自の基準で  
長期投資に適した投資信託を選択しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資
- 2 手数料
- 3 運用実績
- 4 将来性
- 5 運用体制

長期投資を前提とした投資信託  
手数料が費用的な水準  
過去の運用実績が相対的に良好  
資産形成期には、適度に分配金を  
付与するお資本利回りは高いこと  
運用体制について、外部機関の  
評価を取っていること

お年寄りの資産運用にとって  
最適の選択を目的し、投資信託を  
創造しているんだね！

# I.取組状況

## 1 お客様への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

### (2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、  
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を通じて、お客様の皆さまを取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

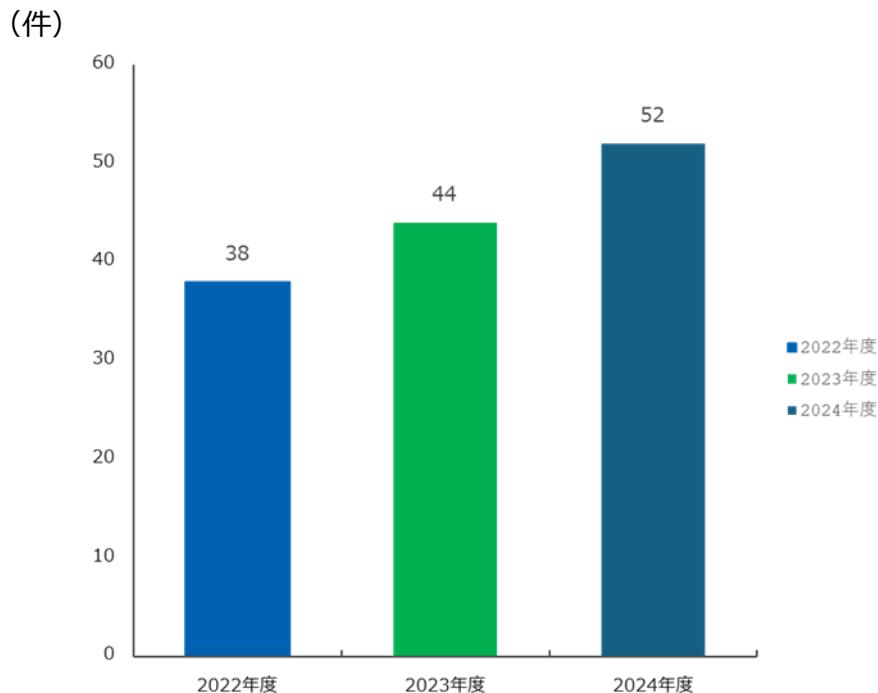
## 2 お客さま本位の提案と情報提供

### (1) 信用の事業活動①

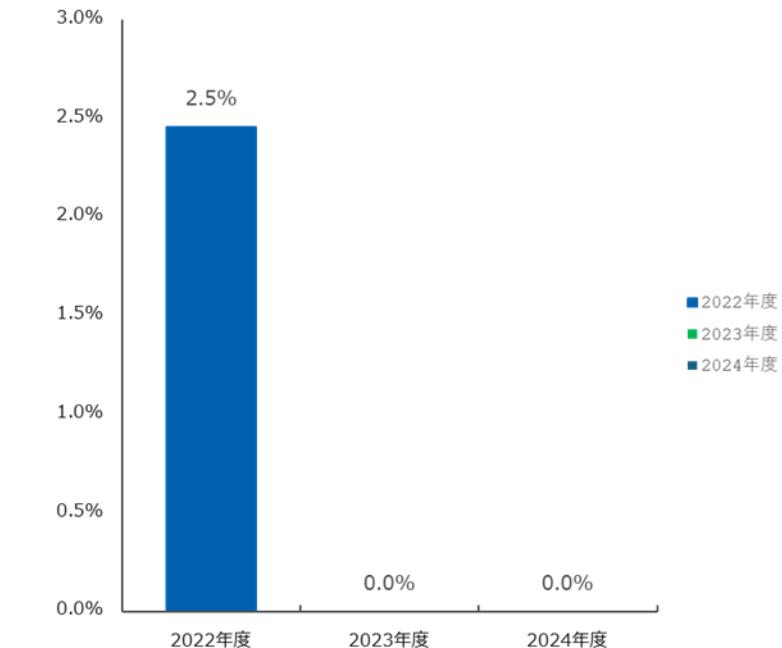
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1~7)】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I.取組状況

## 2 お客さまへ本位の提案と情報提供

### (1) 信用の事業活動②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- ◎お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的をお聞きしながらお客様にふさわしい商品を提案しております。
- ◎お客さま一人ひとりに寄り添った提案を行っております。
- ◎投資経験のない方でも、「資産運用スタイル診断シート」などを用いてお客様の投信目的・ニーズ把握・リスク容認度の確認サポートをしております。
- ◎ご高齢のお客さまについては、ご家族様の同席、役席者での一部対応など慎重かつ丁寧なサポートにて対応しております。
- ◎日時タイムリーに取引内容の確認ができる「JAバンクアプリ」の案内をし、利便性のあるサービス提供をしております。
- ◎お客様の投資判断に資するよう、商品やリスク特性・手数料等重要な情報を分かりやすく丁寧に提供しております。
- ◎投信初心者の方でもご理解できるように、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料・パンフレットを用いて分かりやすく説明し、必要な情報を十分に提供しております。
- ◎商品説明のみでなく、資産運用のメリットデメリット、商品の選定方法も含めて提案しております。
- ◎お客様に負担いただく手数料について、投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすく説明しております。
- ◎お客様からいただく手数料や報酬については、書面にて提示し、分かりやすい説明をしております。

## 2 お客さま本位の提案と情報提供 (2) 共済の事業活動①

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### ① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・3Q活動を通じた「あんしんチェック」を実施することで、お客さまの皆さま一人ひとりのご意向に沿った保障見直しや保障のご提案により、万が一の際の万全な保障を提案しております。
- ・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、お客さまの皆さま一人ひとりのご意向に基づき、ご年齢や家族構成、保障に関する知識、資産状況などをふまえ、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

### ② 情報提供

- ・各種公的保険制度等にかかる情報提供にあたっては、分かりやすい説明に努めております。

### ③ 契約締結時の対応

- ・分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を通じてご提案した共済仕組み・サービスがお客さまの皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。
- ・保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまの皆さまに手数料等はご負担いただいておりません。

## 2 お客さま本位の提案と情報提供 (2) 共済の事業活動②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### ④ 高齢者対応

- ご高齢のお客さまの皆さまに対しては、ご子息などご家族も含めてご意向の確認を実施し、より丁寧かつ分かりやすい説明対応を行っております。

### ⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、お客さまの皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 共済金等のご請求、お支払いなどの各種手続きにおいて簡素化を推し進めるなど、お客さまの皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、3 Q活動を通じてアフターフォローを実施し、お客さまの皆さまの近況のご確認やライフィベントに応じた必要な情報提供を行うことに努め、お客さまの皆さまに寄り添った取組みを実施しております。

# I .取組状況

## 3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ◎ お客さまへの商品・サービス選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないよう、「利益相反管理方針」に基づき適正に管理しております。
- ◎ 商品選定にあたっては、手数料率に基づいた提案ではなく、あくまでもお客さまの投資判断を優先すること、また月次・年次の定期モニタリングにより適切な内部管理を行っております。

## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

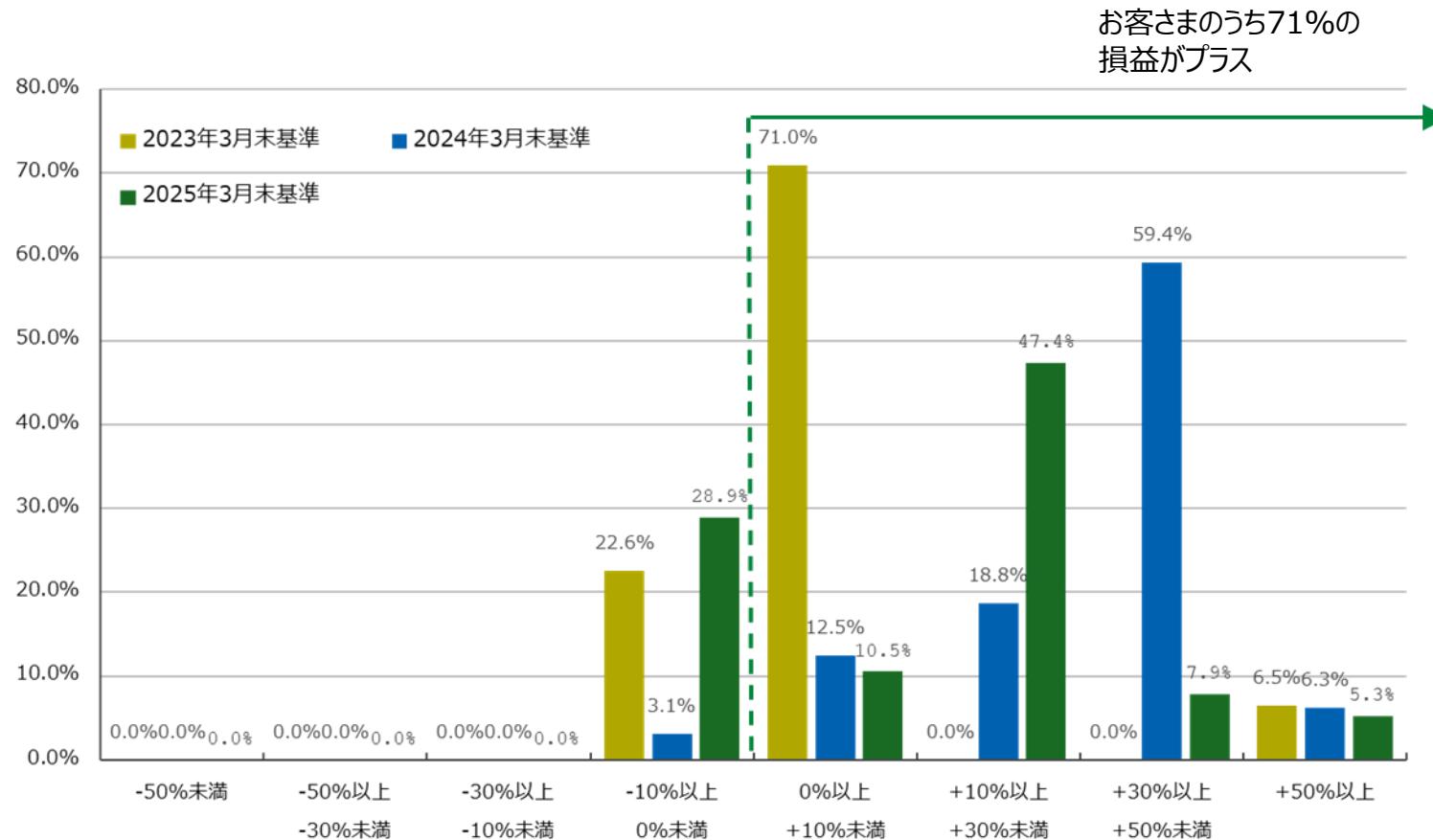
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- ◎ 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- ◎ 金融リテラシー向上のため、研修会、勉強会の受講や資格取得にて担当者の育成に努めています。
- ◎ お客さまからいただいた声を誠実に受け止め、お客さま本位の行動を組織として浸透することで、業務改善やサービスの向上に取り組んでおります。

## II. 比較可能な共通 KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の71%のお客さまの損益がプラスとなりました。

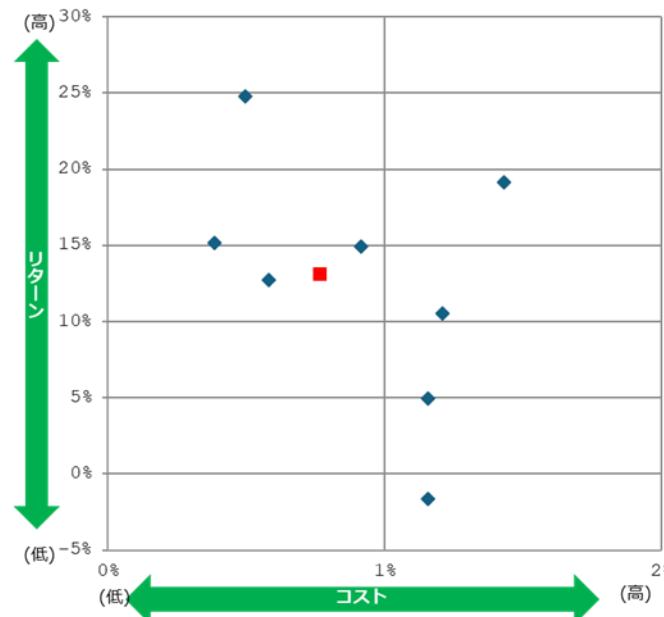


## Ⅱ.比較可能な共通KPI

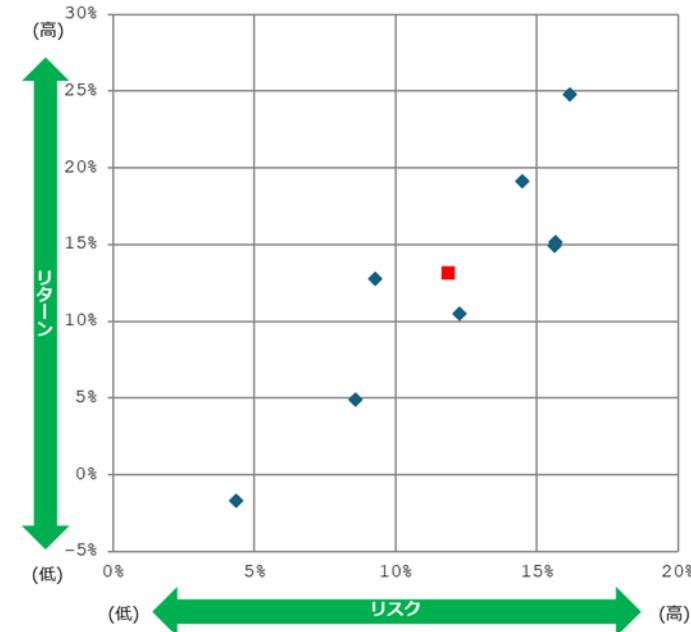
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.77%、平均リスク11.87%に対して、平均リターンは13.14%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



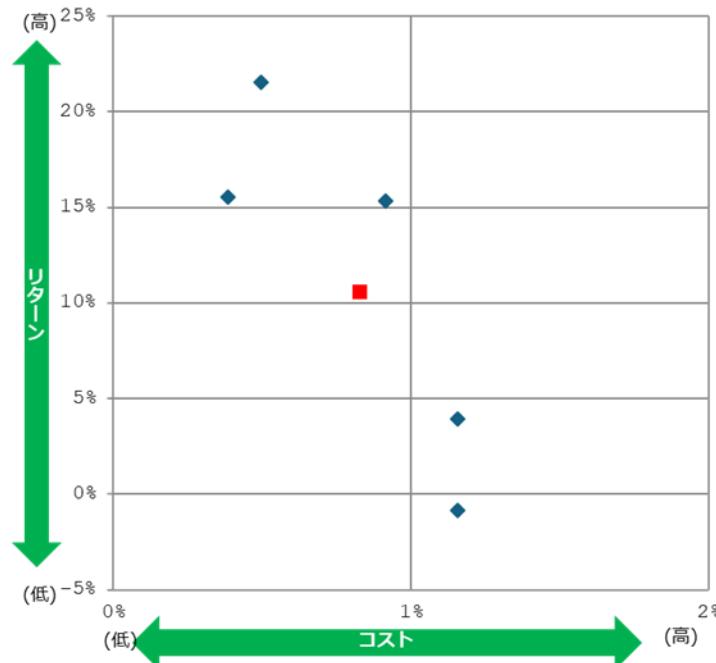
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

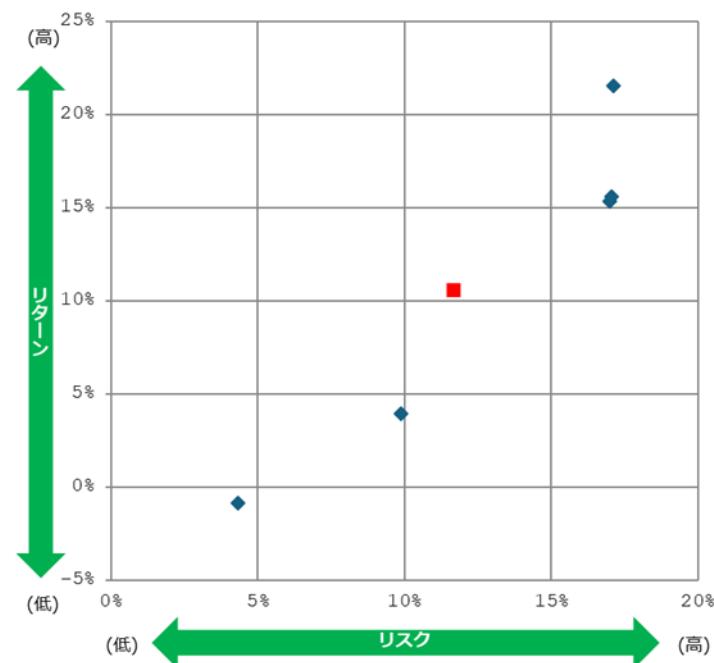
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.83%、平均リスク11.69%に対して、平均リターンは10.56%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



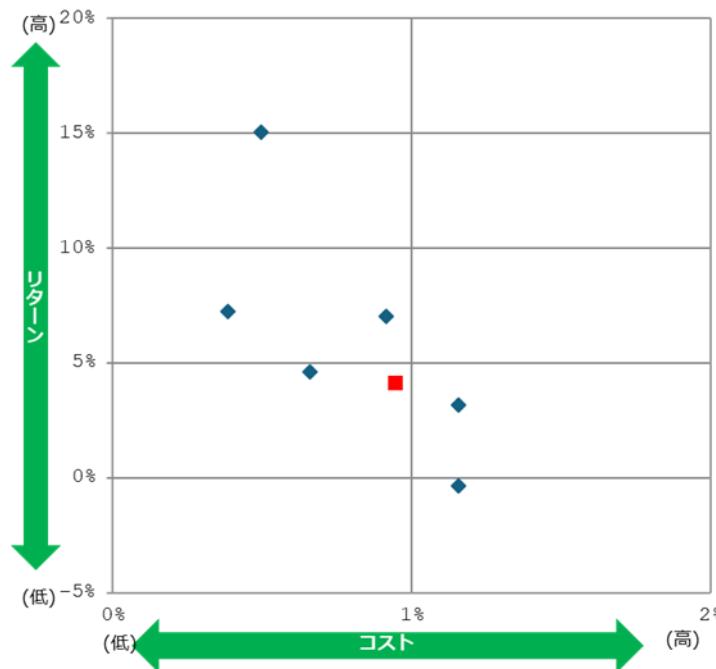
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

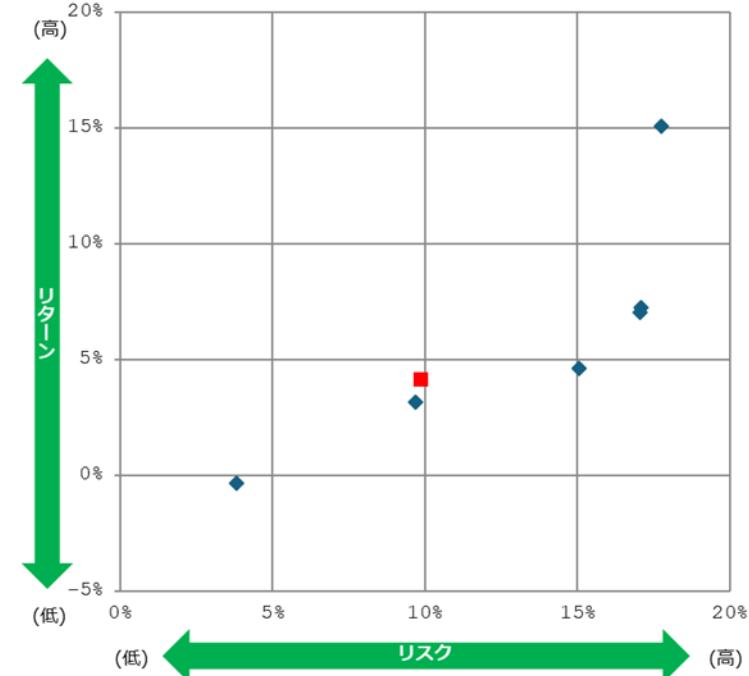
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.94%、平均リスク9.85%に対して、平均リターンは4.14%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
3	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
6	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューアインベストメント(株)	10.52%	12.27%	1.21%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		13.14%	11.87%	0.77%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

【預り残高上位20銘柄 (設定後5年以上経過したもの)】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
2	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
4	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		10.56%	11.69%	0.83%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
4	J-REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.62%	15.04%	0.66%
5	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
6	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		4.14%	9.85%	0.94%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。